

クラスだより こばと1組 1月号

あけましておめでとうございます。3学期が始まり、寒さが一段と身に染みますが、子ども達は毎日元気いっぱい遊び、外遊びではジャンパーを脱いで走り回る姿も見られています！1月は、コマ回し、お手玉、お餅つき、花餅作りなど、お正月遊びをたくさん楽しみました！気付けば、こばと組も残り2ヶ月。笑顔溢れる毎日を子ども達と過ごしていきたいと思います♡今年もどうぞよろしくお願いします。

今月の讃美歌・歌
♪わたしたちはロバの子
♪ありがとうのはな

クラスの取り組み

* 次日の予告や持ち物をお家の人に伝え、自分で用意ができるように声をかけています。

* こども動物園 *

ウサギ・モルモット・羊・ヤギ・ミニブタ・馬・ロバ・ヘビと、たくさんの動物が幼稚園に遊びに来てくれました♪ 子ども達と同じくらいの目線の高さで、餌を持っているとグイグイ近付いて来る羊やヤギに「怖いーーー！」と逃げる子もいれば、モルモットやウサギを積極的に抱っこして触りにいく子、端っこで静かに餌をあげる子と、様々な姿が見られました♡ 少しどきどきしながらも、モルモットをお腹とお腹でくっつけて抱っこしてみると、とても大人しく落ち着いてくれて「あったかくて可愛い～♡」とメロメロになる子ども達でした☆

朝から子ども達が口々に「怖い…」と呟いていたヘビ！ 恐る恐る長いヘビの体をヨシヨシ…。「触れたーーー！」と飛び跳ねて喜んでいました♪ 中々できない経験やふれあいをたくさんてきて、命の温かさや大切さ、関わり方をたくさん学ぶことができました*



* おもちつき *

12月のクラスだよりでお伝えした『お米プロジェクト』。もち米を食べた時に「お餅みたいになってきた！」という声が聞こえました。「もち米を使ってお餅つきをすると、お餅に変身するんだよ」と伝えると「やったことある！」「家に機械ある！」「やってみたい～！」と、目を輝かせる子ども達。「3学期にみんなでできたらいいね！」とお話ししていた事から今回の取り組みに発展しました♪ 今の時代、お餅つきの機械もあるので、「せっかくなら使ってみよう！」と、機械の中でもち米がお餅に変わっていく様子もみんなで観察しました☆ もち米の粒が少しずつ無くなり、ふわふわ・もちもちの真っ白なお餅に変身！コロコロした何とも言えない可愛さのお餅を、じーっと見つめ、思わず見惚れてしまう子ども達でした♡

9割ほどお餅になったところで臼にうつし、いよいよお餅つきがスタート！重たい杵を力いっぱい持ち上げ、お餅に向かって「ペッターン！」。「よいしょー！よいしょー！」という子ども達の元気な掛け声に合わせて全員がお餅をつき、みんなの力でお餅が完成しました♪ つき終わってから、「1人で持ち上げてペッターンできたで☆」と得意気に何度もお話しする可愛い子ども達でした♪ 完成したお餅は、保育者が小さく丸め、きなこor砂糖醤油に味付けをし、みんなで頂きました。「美味しすぎる！！」「もちもち～♡」「もち米と全然違う！」と幸せそうに口に入れる子ども達♡ 給食前に24人でもち米約12合分のお餅を完食するこばと1組でした（笑）



* 花餅づくり *

お餅つきでは、丸める経験ができなかった為、つきたてのふわふわ・もちもちのお餅に触れ、丸める楽しさを味わってほしいという私の

想いから、『花餅』作りをすることにしました。花餅は『五穀豊穣・家内安全・無病息災』などを願う縁起物で、本来年末から小正月にかけて飾るお正月飾りですが、子どもたちにとっては、お餅の柔らかさや手触りを感じられる、貴重な経験となりました。機械で作った、できたてのお餅を触った子ども達は「あったか～い！！」「ふわふわしてて気持ち～♡」「ぶにぶにしてる！」と感触を楽しんでいました♡ 白いお餅と、食紅で色付けした赤いお餅を子ども達に配り、手に粉を付けたら、自分達で更にお餅を小さくちぎり、木の枝に『白・赤・白・赤』と順番を考えながら、そつとつけていきます。丸く小さなお餅を均等に飾っていく子や、大きめにちぎって感性のままに飾っていく子、ベタベタが気になり「手洗いたいなあ…」と呟く子、お餅や粉を触るのが気持ちよくて楽しむ子、「ちょっと食べてみよっかなあ～」とニヤッと笑っている子など、1人1人の取り組み方や飾り方が違い、とても楽しく、貴重な経験となりました♪

みんなで作った素敵なお餅。お正月は終わりましたが、できる限り長く飾ってみたいなあと思っています☆

